

ものづくりのまち三条についで

問 新規事業者への支援は十分か。
答 中心市街地の空き店舗等を活用して新規出店を行う人に補助を行っている。

問 既存の事業者への支援は十分か。
答 コト・ミチ人材連携支援事業を実施。加えて製品開発補助金を用意している。

問 地域間の連携や競争はもっと大きくなる。今後、ものづくりのまちとしてどのように支援していくのか。
答 最終消費者を対象にした取り組み、優れた加工技術を生かした業種連携による製品開発の取り組みを柱としている。さらに海外市場の開拓に取り組んでいる。

石川雲蝶について

問 市民ガイドに対してどのような支援をしているのか。
答 パンフレットの作成や関係機関の補助金について情報提供している。



石川雲蝶ボランティアガイド 養成講座講義録

問 作品は県内各地にある。どのように連携しているのか。
答 県内だけでなく東京においても記念講演やパネル展などを開催し、関係各地と連携してきた。

問 市民に知ってもらおう取り組みはどうか。
答 公民館で石動神社や本成寺などに出向いて見学会や講演会を実施している。歴史民俗産業資料館において過去2回企画展を開催した。

内水害と土砂災害の防災対策について

問 7月3日、18日と集中豪雨に襲われた。市内各所で土砂崩れや浸水被害が発生した。
答 冠水は毎回ほぼ同じところで発生している。都市計画と排水路整備の遅れが原因ではないか。下田地区では土砂崩れが発生し、避難勧告も出された。検証は行ったのか。

問 現在1人当たり県平均より10万円、燕市より21万円低い市民所得の向上を図らなければ卒業生は市外へ流出していくのではないか。
答 ものづくりのまちとしての優位性を高めていくことに加え、海外販路開拓にも取り組んでおり、こうしたことを通じて市民所得の向上につながっていると考える。

バイオマス発電所の稼働について

問 保内工業団地内のバイオマス発電所が稼働した。試運転時に近隣から苦情が寄せられたが市はどう対処したのか。また、稼働に当たり市民団体から環境影響評価の要望が出されているが対応はどうか。
答 試運転時の振動騒音は、直ちに対応した。近隣への事前説明が



保内のバイオマス発電所

三条市の今後の財政運営について

問 負債残高に対し、地方交付税として交付される額はどのくらいか。
答 一般会計の市債残高約704億円に対し454億円、64・5%が算入されると見込んでいる。

問 今後控える総額296億円もの大規模な建設事業の財源内訳はどうか。また、市債の借入額に対する交付税入額をどのくらい見込んでいるのか。
答 今後建設を予定している医療系高等教育機関、実学系ものづくり大学、図書館等複合施設などの整備事業の財源は、国県補助金約71億円、地方債約177億円、基金約9億円、一般財源が約39億円で、地方債に係る交付税算入額は約40億円と見込んでいる。

財政調整基金の考え方について

問 財政調整基金の考え方について。
答 年度間の財源の不均衡の調整や災害への対応など突発的な財政需要に対応するなど、安定的な財政運営をするために積み立てているものである。

三条市における地域医療への取り組みについて

問 市内の医療資源を疲弊させないために、住民の地域医療に関する理解が必要であると考えますが、現在市として理解促進の啓発等に取り組んでいるのか。
答 不十分であり、市として指導を行った。市民団体からの環境アセスメント要望は、発電規模がアセスメントの対象とならないため行わない。

投票率の向上について

問 若い世代とりわけ18歳以上の高校生の投票率を上げていくために、今後各学校への期日前投票所の設置を検討していくべきではないか。
答 現時点において期日前投票所の設置は考えていない。

問 市債の借入れは将来を見据えた投資であるが、今後どのようにやっていくのか。
答 全体の見通しを見据え、その財政状況を予測の範囲内でコントロールしていくことが健全財政を維持する肝である。

若者の定住促進と市民所得の向上策は

問 若者の定住が期待される実学系ものづくり大学について、生徒の確保面からも産業形態が同じ燕市と取り組まれるべきでないか。
答 現段階では三条市の若年層の転出抑制と市内企業の人材育成を主たる目的としていること、またスピード感を持つて取り組むことが肝要であることから、基本的には三条市と市内産業界で協議、検討しながら進めていきたい。しかし、長期インターンシップを含む企業と連携した教育システムを構築、実現していくためには数多くの企業の協力が必要になり、今後三条商工会議所や三条工業会と実施方法等

ミスベリリング三条について

問 三条防災ステーション前の広場「水辺空間」が昨年ミスベリリング三条として指定されたが、カヌー協会等と連携しイベントの開催を考えてはどうか。
答 今後イベントが実施できるよう調整していきたい。

須頃郷第1号公園について

問 公園をパークアンドライドにも対応した駐車場として整備してはどうか。
答 燕市と検討し努力していく。

小中一貫教育の現状について

問 いじめ、引きこもりの現状は。
答 平成26年度いじめ防止対策推進法が制定され、疑わしい事案はいじめとして対応している。登校率は上昇している。